



2人には、2018年も残りわずかですが、今年はみなさんにとって、どんな1年でしたか？ 家族で今年の出来事を振り返り、「〇〇家の10大ニュース！」のようにまとめてみると、おもしろいかもしれませんね😊

近年、携帯型多機能端末スマートフォン(スマホ)の普及が進み、また、スマホだけでなくインターネット接続が可能な携帯ゲーム機、タブレット端末などの広がりにより、子どもたちを取り巻くインターネット環境が大きく変化し、生活の中に入り込んできています。

子どもにとって、乳幼児期は、脳や体、心が発達する大切な時期、そして学童期は、仲間と
 過ごし様々な能力を獲得していく大切な時期です。今月は、成長していく子どもと接する大人のス
 マホの使い方や子どもの安全なスマホの使い方について考えてみましょう。

子どもに **ながらスマホ**で接していませんか??

毎日の生活の中での親子のふれあい

早い幼児期は、子どもに視線を向けて語りかけたり、見守り共感したり、微笑みや言葉を返したりして適切に応答することで親子の愛着が育まれると言われています。

親子が一緒に過ごし、会話や体験を共有できる時間を意識してつっていくことや、スマホから離れて、子どもの安全にしっかり目を配り見守っていくことは、子どもたちの育ちにとって大切なことです。

* 例は“...

家族で楽しむ時間をつくりましょう。
(読み聞かせ、あそび、散歩など)
食事中、授乳中はテレビを消して、
スマホから離れて、お子さんの顔を
見ながら、会話を楽しみましょう。

お子さんと一緒に過ごす時間は
愛情たっぷりの言葉とスキンシップ

インターネットの危険から子どもを守るために

スマホ等の利用時間が長くなることで、他者とのコミュニケーションや学習・運動の時間が減少したり、睡眠不足や生活リズムの乱れ、人間関係のトラブル、高額な課金、インターネットでの危険な出会いにより事件や犯罪に巻き込まれる等のリスクが高まります。子どもたちを取り巻くインターネット環境について、家庭でできることを考えてみましょう。

日頃から家庭内の
会話が大切です。日常の
親子のコミュニケーションを
心がけましょう💡

親子で話し合っ てルールをつくっていきましょう。

ルールづくりは、子どもの自主性を尊重することが大切です。親から与えられたルールではなく、親子で一緒に考えてつくりましょう。子ども自身が決めることで、自ら考えて使用しようとする意識が高まります。子どもが自分で自己管理できる力、有益な情報を判断し選択して活用できる力を育ていくことを目指していきたいものです。ルールづくりに当たっては…

- ① 家庭の状況に合わせてつくる。
- ② ルールの必要性を子ども自身が自覚できるようにする。
- ③ ルールの内容は、子どもの発達段階に合ったものにする。
- ④ 子どもの成長に合わせて見直していく。

わくわく冬休み

～ 年末年始 共通の体験を通して親子のふれあいを～

冬休みは、年末年始の行事や地域の行事が多い時期です。家族や地域の方々との体験やふれあいは、子どもたちを成長させるよい機会です。新しい年を迎えるための準備（年末の大掃除、おせち料理を作る等の家事）をお子さんに手伝ってもらい、教えながら一緒にやることもおすすめです。作業の過程や終わった後、子どもをほめたり、感謝の言葉をかけたりすることで、家族の一員としての自覚が高まり、自己有用感が育ちます。また、地域の行事に参加することは、学校や家族以外の人と関わるチャンスです。その体験は、子どもたちにとって、多くのことを感じたり学んだりする機会になるでしょう。